

今週のビルマのニュース 2008年11月21日号【0836号】

今週の主なニュース：民主化活動家らへの判決続く

・先週に始まった民主化活動家や僧侶への長期の禁固刑判決言い渡しは今週も続き、これまでに70人以上が刑を宣告された。判決を受けた活動家の多くは遠隔地の刑務所に移送され、家族などが食糧や薬を差し入れるのが困難になった。軍政が2010年に予定している総選挙を前に、反対意見を徹底的に抑え込む姿勢を打ち出したとみられる(20日付APほか)。

・一連の長期禁固判決の言い渡しについて欧米政府が非難の声明を発表。日本政府・外務省も17日の外務報道官談話で「深く憂慮して」とした。

その他：参議院ODA調査派遣報告書、ほか

・8月に行われた参議院ODA調査派遣の報告書が20日、発表された。ラオス、タイ、カンボジアを訪れた派遣団第一班(中村哲治団長)は、タイでタムヒン難民キャンプ(ビルマからの難民約7000人を収容)内の学校を視察し、難民支援などを行うNGO代表者らと会談した。所見の部分で報告書は「ミャンマー情勢の悪化に伴いタイ国境にミャンマー難民が押し寄せてきており、このような難民に対する国際的な援助が問題となっている」とした上で、「(難民支援活動)に対する我が国の援助は、草の根無償資金という1年限りの援助にとどまっており、さらに継続的な取組を行うことができないか検討する必要があると考えられる」とした。

<背景>参議院では、参議院改革協議会報告書(平成15年)の提言「ODA経費の効率的運用に資するため、新たにODAに関する専門の調査団を派遣すること」等に基づき、平成16年度から毎年度ODA調査のための議員派遣を行っている。

・ベンガル湾からビルマを横断して中国雲南省の昆明まで石油と天然ガスを運ぶパイプラインを建設する計画で、ビルマ軍政が中国に経営権を付与した。チャイナデイリーによれば、来年前半にも雲南省で工事が始まる(19日付AFP、18日付日経ほか)。

・ビルマ民主化を支援し、サイクロン被災者支援も行う国際ビルマ仏教僧協会(別名サーサナモリ、2007年10月に設立)のアシン・ナヤカ師が来日。軍政の僧侶に対する弾圧の実態を訴え、国際社会の中で日本政府が率先して軍政に民主化改革を行うよう働きかけるべきだ、などと語った(15日付朝日新聞ほか)。

ビルマへの政府開発援助(ODA)約束状況など

新たな発表はなし

イベントなど

・宇田有三写真展「アウンサンスーチーとビルマ」(岐阜県 瑞浪芸術館、24日まで)

・ミャンマーでのボランティア活動紹介・ミャンマー雑貨販売 国際協力サークルELAN(東京外国語大学研究講義棟332教室、20~24日10時~18時)

・連続セミナー「外国籍の家族と子どもの今」第5回 日本の難民・移民の現在と未来 トークショー第2部『難民の家族』にビルマ難民Mさん家族(日本キリスト教会館4F、23日14時~)

・神戸松蔭女子学院大学 2008年秋季特別講座シリーズ「ミャンマー(ビルマ)の現状」講師：日本ビルマ救援センター代表 中尾恵子氏(神戸松蔭女子学院大学、26日14時40分~)

・アジアと日本のつながりを考える国際セミナー「100人の村 あなたもここに生きています」ヒューライツ大阪ほか主催 秋元由紀がパネルに参加(大阪市阿倍野区民ホール、12月5日14時~)

・ビルマ市民フォーラム例会「初めての方のための『ビルマ入門講座』ビデオ上映と講演 根本敬」(文京シビックセンター、12月6日18時半~)

・世界人権宣言60周年記念・世界人権デー マーチング、呼びかけ団体 在日ビルマ人共同行動実行委員会ほか(宮下公園集合、12月10日14時半~)

・ジェーン・パーキン最新アルバム『冬の子供たち』が11月26日に発売予定。アウンサンスーチー氏に捧げる楽曲「アウンサンスーチー」を収録。

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165